



Title	編集後記 サイバーメディアフォーラム no.10
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2009, 10
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70290
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

私には保育園に通う娘がいる。娘はこれまで、御多分に洩れずディズニープリンセスやピンク色が好きだったが、最近はかわいいものより、かっこいいものに憧れるようになってきた。なかでも娘の一番のお気に入りがシアトル・マリナーズのイチロー選手だ。イチロー選手が史上初となる9年連続200本安打を目指して打席に立つ姿をテレビで見るたびに、「がんばれ、イチロー！ヒット打ってや〜」と応援に力が入る。イチロー選手は私より1つ年下で、野球選手として若いとは言えないが、野手のいないところを狙って右に左にヒットを打ち、多くの盗塁を決め、2001年のメジャーリーグデビュー以来、注目の的で居続けている。この継続する力は並大抵のものではない。毎日の地道な練習と、熱心で入念な研究が本番での成功に繋がっているのだろう。

ただ、そんなイチロー選手も、毎打席ヒットを打っているわけではない。2001年からの平均打率は3割3分3厘。約3本に1本の割合でしか成功していないのだ。こう考えると、なんだかホッとする。だから、私たちも英語でコミュニケーションをとろうとしたとき、失敗を恐れてはいけない。年を重ねると、失敗に対する恐怖心が益々増してくるが、自分が思っているほど周りの人は自分にばかり注目しているわけではない。**Failure is a stepping-stone to success.** という諺どおり、失敗から学ぶことはたくさんあって、それによって成長していけるのだ。**Practice makes perfect.** という諺もある。練習に勝るものはない。本誌今号で特集しているCALL教材やLMSを活用することで、授業内外の時間を有効に使用し、社会から期待されるレベルの語学力を養成していければと願う。

「いけー、イチロー！打たんかったら、晩ご飯、抜きやで〜」。娘の大きな声援が聞こえるたびに、私も普段の勉強を怠らず、そして失敗を恐れず全力を尽くそう、と密かに自らを鼓舞するのであった。

(J.T.)

広報委員会委員

- 小田中 紳 二 (委員長、大阪大学サイバーメディアセンター)
- 藤 堅 正 (近畿大学理工学部)
- 豊 永 昌 彦 (高知大学理学部)
- 前 迫 孝 憲 (大阪大学大学院人間科学研究科)
- 養 老 真 一 (大阪大学大学院法学研究科)
- 小 郷 直 言 (大阪大学大学院経済学研究科)
- 阿 部 浩 和 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 清 川 清 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 竹 蓋 順 子 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 時 田 恵一郎 (大阪大学サイバーメディアセンター)
- 馬 場 健 一 (大阪大学サイバーメディアセンター)